

公益信託うつくしま基金 第6回後期助成活動実績報告書（ホームページ公表用）

平成20年11月20日

1 実績報告者

助成受給者 (団体)名	(フリガナ) フクシマケンイドウサービネットワーク 福島県移動サービスネットワーク
----------------	--

2 活動名称

高 齢 者 ・ 障 が い 者 な ど 移 動 困 難 者 へ の 福 祉 有 償 運 送
と 過 疎 地 有 償 運 送

3 助成コース・助成額・活動期間

助成コース名	スタートアップ支援コース（10万円以下）	助成額	事業費総額	
※助成を受けたコースに ○印を付け、助成額・事業 費総額（実績）を記入して 下さい	○ 100年後も…いきいき ふくしま うつくしま（県民運動）実践コース	19万円	19万円	
	※県民運動実践コースの 場合は右記のどの重点 テーマに該当する活動 か、該当するものに○ をつけて下さい。			○ 地域コミュニティの再生
				子育てしやすい環境づくり
				環境問題への対応
活動期間	平成20年10月 1日 ～ 平成20年11月 4日			

4 実施した活動の実績・成果

(1) 実施した活動の内容

私どもの活動は「非営利」ではありますが、道路運送法では、運転者に対する講習の実施が義務づけられています。利用者である高齢者・障がい者などの移動困難者に安全・安心を自覚してもらえ運転技能と、正確な知識と技術による移動介助技術の習得は非常に大事な講習となっております。

講習の実施についても、国土交通大臣から認定されることが必要となっており、県内で講習の実施団体として国土交通大臣認定を受けているのは私どもだけです。そのため、県内各地に出向いての講習会実施を計画しておりますが、映像教材を活用できる施設での実施が難しくなると開催できない地域もありました。そこで、運転者講習の質を向上させ、映像資料を十分に活用した講習会を実施するため、プロジェクタ、スクリーン各1台を購入しました（事務局で備品として管理し、講習会開催時に会場に持参して活用しています）。

(2) 活動の成果

受講者の理解が進むとともに、1回の開催で40名以上の受講者に同じ内容のパワーポイント資料、DVD/ビデオ教材を見てもらえることで、同じレベルの講習が県内で開催することが可能となりました。具体的には、

- ①道路運送法のポイントや県内で発生した交通事故の原因をまとめたグラフや図表、
- ②視覚障がい者の視野がどのように状態になっているのかを表わしたイラスト、
- ③車イスでの移動介助技術や視覚障がい者の誘導の仕方のイラスト入りの資料、
- ④標準的な福祉有償運送・過疎地有償運送のサービス提供の際の注意点を映像化したDVDの上映
ができるようになりました。

講者にも好評で、講師陣の知識と力量に頼りきっていた講習内容が標準化され、福祉有償運送・過疎地有償運送の担い手である運転者の運転技能と正しい知識と確かな技術の習得に役立っています。

(3) 今後の課題

県内では、公共交通機関の衰退が拡大しています。そうした地域の実情を考えたとき、自力での移動が困難な高齢者・障がい者などの移動困難者、公共交通機関のない中山間地の住民の皆さんの生活の足の確保が重要となっています。県内で広く福祉有償運送・過疎地有償運送の重要性を訴えるためにも、小さなコミュニティー単位での勉強会の開催、担い手である運転者を養成するための講習会の実施に力を入れていきたいと考えています。その際、今回購入したプロジェクタ・スクリーンを持ち込み、地域住民の皆さんに理解していただく活動に活用していきます。

【 活動実績（写真） 】

助成受給者 (団体・グループ) 名	福島県移動サービスネットワーク
----------------------	-----------------

